

平成27年度第1回技術講習会



開講あいさつ



講義の様子

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い、会員の技術力アップを図るため、計画的に講習会を開催しています。

本年度も（一社）日本電設工業協会（以下「日電協」という。）の人材育成事業補助メニューの活用及び協会賛助会員との連携講習の2コースを計画しており、第1回目は、日電協メニューを活用し「現場管理業務のポイント」をテーマとして開催しました。

講習会は平成27年8月28日（金）午後1時30分から4時45分まで兵庫県中央労働センターで開催し、講師は日電協から派遣された㈱きんでん技術本部技術統轄部技術教育チーム副長西尾 徹氏及び同社神戸支店の安全品質保証チームリーダー塩井大祐氏、工事部技術課次長大澤 敦氏にお願いしました。

講習は、日電協発行の『電気設備技術者のための現場管理技術—現場代理人—』をテキストに使用し、講義は、現場管理の基礎知識として求められる「建設業法と技術者制度」、「現場管理業務の概要」の制度的、枠組み的な項目から始まりました。

そして、現場管理技術を「施工技術管理」、「工程管理」、「資材管理」、「品質管理」、「安全管理」、「労務管理」及び「原価管理」に分けて、各管理の対象と管理の意義、管理のツールとなる管理業務の種類・内容、管理の手法等について、重要ポイントを押さえつつ実践的に講義が行われました。

会員企業から参加のあった44名の受講者にとって、現場管理のポイント、現場代理人として求められる現場管理技術について、日常、業務に追われる中で、改めて総合的、体系的に学ぶことができました。



熱心に聴講